
星のカービィ E X

ブラック

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

星のカービィEX

【Nコード】

N8607L

【作者名】

ブラック

【あらすじ】

星のカービィのゼロが本気でププランドを侵略！？
その他メタナイトの逆襲やデデデの暴走など

プロローグ

はじめましてといつときながらいきなりはじめさせていただきます。
星のカービィの小説を書いてきたいと思います。

ストーリーは、ゼロがまじめにププランドを侵略みたいな感じで
いきたいと思いますので

よろしく願います。 > m (——) m <

設定

時代(？)…カービィがゼロツを倒してから数年後の話

キャラ…未定

場所…ププランド

分類…シリアスだったりコントだったり…

の予定で行かしていただきます。(ものすごくあいまいですいません)

小説に関しては子らが初投稿になるのでできてない点や、
こうしたほうがいいよという点をばんばん指摘してください！

ではそろそろ小説に……

- - - - -
- - - - -
- - - - -
- - - - -

序章第一話

物語はいつでも平和なププランド…

からではなくメタナイトの要塞から始まる。

『ビービー』(警報音)

?????「ちつ…見つけたか…」

何者かがメタナイトの要塞内の廊下を逃げる。
それをメタナイトが追う。

メタナイト「お前たちは回り込め！挟み撃ちにするぞ！」
手下「了解！」

メタナイトたちは二手に分かれた。

そして案の定侵入者を挟み撃ちの状態になった。

メタナイト「お前は何者だ！！」

????「さあな・・・。」

メタナイトがやってくる。どうやら追い込んでる途中に誰かが報告したらしい。

メタナイト「！！！！・・・おまえは・・・」

- - - - - 序章第
一話おわり - - - - -
- - - - -

どうでしたか？

すいません初なので、というか短すぎました・・・

マジすいません。

次回も書きますのでよろしくお願いします。

序章

前回のあらすじ

メタナイト「!!!!・・・おまえは・・・」

メタナイト「ナイトメア!!!!」

周りの野次馬など「ナイトメアだとお!!!!????」
辺りが騒がしくなる

????「・・・リアルマターだ。」

メタナイト「・・・そんなことはわかってる!何のようだ?ナイトメア!?!」

リアルマター「リアルマターだと言っているだろ!!」

メタナイト「いやお前はナイトメアだ!!この私に間違いはない。」

リアルマター「ため息を漏らす

リアルマター「好きにしる」

メタナイト「で、何のようだ!?!」

リアルマター「さあな、答えるバカがどこにいる?」

メタナイト「答えないというなら、力づくで答えさすまでだ!!」

メタナイトが先に仕掛ける

大きく剣を振りかざして切りかかる

しかしあっさりよけられる

続いてメタナイトの突き

しかしこれもあっさりかわす

以下戦闘シーン省略

メタナイト「・・・なぜ攻撃してこない?」

リアルマター「こちらは戦う気などないのにお前が勝手に仕掛けてきたからな」

メタナイト「・・・?」

リアルマター「(そろそろか・・・)もう用は果たした・・・」

一同「・・・??？」

リアルマター「さらばだ・・・」

メタナイト「あ！こら待て！逃げるな卑怯者！！」

リアルマターが行った先にはすでにリアルマターの姿はなかった

メタナイト「・・・？」

メタナイト、お前たちはこのことについてどう思う？」

メタナイト「・・・さあ？たぶんあるとしたら宣戦布告ってことも・・・」

メタナイト「・・・もしそうだとすると・・・お前たち、ハルバードをいつでも出撃できるようにしておけ」

一同「へ？」

メタナイト「わかったな？」

一同「・・・了解」

デデデ城前にて

デデデ「そんなわけあるかゾイ」

メタナイト「でも確かにリアルマターが・・・」「ゼロツィはカービイが倒しただろうがゾイ」

メタナイト「しかしゼロツィがいないのにわざわざププランドに攻めてきますかね？」

デデデ「お前は幻覚でも見たんだゾイ！！」

メタナイト「しかし・・・」

デデデ「いい加減にするゾイ！！」

プチン（メタナイトが切れた音）

メタナイト「もういいです！！このへっぽこ大王！！！！」

要塞にて

メタナイト「明日午前9時にププランドにハルバードを出撃させる！それまでにハルバードの整備をしておけ！！」

一同「へ？」

メタナイト「わかったな？」

一同「・・・了解」

メタナイトが立ち去る

メタナイト「・・・マジで!？」

序章（後書き）

次回からカービィがでまーす

第一話 メタナイトとカービィ

とあるテレビ番組にて

“『上に昇りたがるのは馬鹿と変態だけだ!!』”

カービィ「……………そーなのかー」

「よし!メタナイトや大王に教えてあげよう!!」

ワープスターでメタナイトの要塞に向かうカービィ

メタナイト「あ!流れ星!」

部下「あ、ほんとだ」

メタナイト「あれ?でもなんかこっちに……」

ワープスターがメタナイトの要塞に突っ込む

カービィ「着陸失敗した……ってワープスターがつ!!」

ワープスターの羽がもげる

カービィ「死なないで!ワープスター!

メタナイト「まず生きてる俺たちの心配をしる!!」

カービィ「あれ?メタナイトなんでここにいるの?」

メタナイト「こっちのセリフだよ!」

カービィ「まだクビになつてなかったんだ……」

メタナイト「……はい?」

カービィ「いや、昔メタナイトとやりあったときに、『あいつらはクビだ!』とかなんとかいってたから……」

メタナイト「……………。(メタナイト様そんなこと思ってたんですか・……………」

カービィ「で、メタナイトはどこ?」

メタナイト トラウマスイッチ発動中

カービィ「まあいっか。てきとうに壁破壊してったらそのうち会えるだろ」

Stage 1 クリア

ドカーン（壁にボムが投げられた音） バキバキ（壁に亀裂が入る音） ガラガラ（壁が壊れる音）

カービィ「メタナイトどこ？」

はたから見るとただのテロリストである。

カービィ「そういやメタナイトって上のほうにいたような・・・」

「よし！！！」

上にボムを投げる

ドカーン（壁にボムが投げられた音） バキバキ（壁に亀裂が入る音） ガラガラ（壁が壊れる音） グラグラ（要塞が揺れる音）

カービィ「ん？何だこれ？なんかスイッチがある、おしてみよう」
カービィはダイナマイトの起爆スイッチを押した ドツカーン

部屋が崩れた

カービィ「うわ、死ぬかと思った・・・」

普通は死ぬ

カービィ「あ、でも上への道ができたラッキー」

Stage 2 クリア

余談だがダイナマイトの起爆スイッチとはヘビーロプスターの自爆スイッチである

メタナイト「散々要塞を破壊しよって・・・で、何のようだ！カービィ！？（怒）」

カービィ「いや、ちよつとメタナイトに教えたいことがあってね」

メタナイト「何だ！？内容によつては貴様をここで殺す！！」

カービィ「知ってた？『バカ』と『変態』は上に昇るんだってそれ
でね・・・」

メタナイト「・・・」

カービィ「メタナイトってさあいつでも上に昇りたがるじゃん、だからメタナイトってバカで変態なんだねwww」

メタナイト「（がーン）・・・そうか・・・」

カービィ「でメタナイトは何してるの？」

メタナイト「・・・革命の準備」

カービィ「ふーん、デデデより上に立つために？」

メタナイト「ああ・・・」

カービィ「やっぱりメタナイトはバカで変態だね（＾―＾）」

メタナイト　トラウマスイッチオン

stage3クリア

カービィ「そっぴや革命って何の革命だろう？」

まっいいか、あ、そういえば大王が・・・

メタナイト　復活

メタナイト「大王がどうした？」

カービィ「『メタナイトがこの国をのっとりとうとしている』とか言ってた」

メタナイト「あのバカ大王・・・」

カービィ「???」

—————メタナイト事情説明中—————

カービィ「え！？ゼロツーが生きてる??」

メタナイト「ああたぶんな」

カービィ「じゃあ早く大王を説得に行かなくちゃ」

メタナイト「ついてきてくれるか？」

カービィ「もちろん！」

続く

第一話 メタナイトとカービィ（後書き）

ちなみにメタナイトが機嫌が悪いのは、デデデにバカにされたからです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8607l/>

星のカービィEX

2010年10月9日23時22分発行